

平成27年度学校だより

平成27年 4月 6日



にしはら

4月号

渋谷区立西原小学校

平成27年度スタート

校長 手代木 英明

先週に校庭の桜は満開となりました。花壇のスミレも可愛い花が咲きました。春の息吹の中、平成27年度がスタートしました。

新1年生97名を迎え、全校児童545名で西原小学校の教育活動が始まりました。新1年生の保護者の皆様、お子様の小学校入学おめでとうございます。そして、進級した子供の保護者の皆様、進級おめでとうございます。

子供たちは、新しい学年で「新たな目標」をもっていることと思います。子供たちの限らない思いや願いに応えられるよう、教職員一同、全力で頑張っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



きれいになった校舎に満開の桜が映えます。二宮金次郎像の右側の花壇にはスミレがあります。

グローバル化を生きる力を育てる西原小学校

本校の特色ある教育活動の一つに「国際交流会」があります。学区域にJICA東京国際センターがあるので、年に一度研修生をお招きしています。言葉の壁を越えてコミュニケーションを図る子供たちは、これからのグローバル社会で活躍できる可能性に満ちています。

ところで、グローバル社会を生きる力とは、どんなものでしょう。まず、本校の教育目標では、今年度も「思いやりのある子ども」を重点目標にしました。相手の気持ちを考えることや相手の意見を取り入れて、よりよい考え方をすることは、国籍や宗教の違う仲間と協働作業をするために必要な力です。

教育
目
標

- 実行する子ども（よく考えて、進んで学習する。）
- 思いやりのある子ども（相手の気持ちを考える。）★今年度の重点目標
- 健康な子ども（外で元気に遊ぶ。）

次に、コミュニケーション能力です。昨年度は「人の話を一度で聞く子」を全校で指導してきました。そして、今年度は「自分のことが言える子」をいろいろな場面で指導してきます。「まず、あいさつから。そして、授業へ。」大きな声であいさつするのはコミュニケーションの基本です。そして、自分の気持ち、意見や考えをはっきり言えることはとても大切なことなのです。

校内研究（研究授業をする学年の先生が協力して細案を立てて授業をします。それを全教員が参観し、大学の先生に指導してもらうことを年間6回行います。）では国語と理科の授業を通して、グローバル化を生きる力を育てていきます。題材を読んだり、観察や実験をしたりしたことについて自分の意見をはっきり述べて議論をして、問題を解決していく授業づくりをしていきます。

西原小学校の子供たちは、東京オリンピックで選手やボランティアとして活躍する世代です。「グローバル化を生きる力」を発揮する機会はたくさんあります。ぜひ、活躍してほしいと思っています。